

令和 7 年度 一般財団法人和泉市文化振興財団
事業報告及び決算書（案）

一般財団法人和泉市文化振興財団

目 次

第1 事業報告書

1. 事業の概要	3
2. 役員等及び職員に関する事項	13
3. 役員会等に関する事項	16

第2 決算報告書

1. 貸借対照表	18
2. 正味財産増減計算書	19
3. 財務諸表に対する注記	27
4. 財産目録	28

第3 監査報告	29
---------	----

頁数には表紙・目次を含みます。

第1 事業報告書

1. 事業の概要

(1) 研究発表展事業

ア 特別展「Over The Waves —南蛮・万博・ジャポニスム—」

令和7年9月7日（日）～11月3日（月・祝）

日本と海外、特に西洋との交流を美術からたどる展覧会を美術館本館ならびに新館を会場として開催した。16世紀のヨーロッパ人の渡来を契機とする南蛮美術、江戸時代の鎖国の状況の中で取り組まれた西洋文化に関わる美術、1867年の第2回パリ万博など19世紀に開催された欧米での万博に出陳された作品、そして浮世絵版画から大きな影響を受けた印象派の絵画やヨーロッパでブームとなったジャポニスムの作品を、他館から作品を借用し当館所蔵品も含め129点を展示した。

展示主要作品

重文	チュニス（レパント） かちょうまきえらでんようひつ 花鳥蒔絵螺鈿洋櫃	せんとうず 戦闘図・ せかいちず 世界地図屏風	江戸時代	中之島香雪美術館蔵
	いろえきんらんでかきもんたいへい 色絵金襴手花卉文大瓶		桃山時代	京都国立博物館蔵
	パリ・イリュストレ 45-46号		明治時代	東京国立博物館蔵
	ふがくさんじゅうろっけい 富嶽三十六景 がいふうかいせい 凱風快晴 かつしかほくさい 葛飾北斎筆		1886年	関西学院大学図書館蔵
	エッフェル塔三十六景 アンリ・リヴィエール		江戸時代	和泉市久保惣記念美術館蔵
			1888-1902年	
				山口県立萩美術館・浦上記念館蔵

ヴァランジュヴィルの風景 クロード・モネ

1882年 ポーラ美術館蔵

イ 特別陳列「浮世絵の黄金時代 —^{ゴールデンエイジ} 葛屋重三郎と^{つたやじゅうざぶろう} 写楽・^{しゃらく} 歌麿^{うたまる}—」

令和7年4月13日（日）～6月8日（日）

浮世絵の黄金時代といわれる18世紀後半から19世紀前半は、江戸の出版業で葛屋重三郎が活躍した時代である。才能を見出す眼を備えていた重三郎は、東洲斎写楽や喜多川歌麿を世に送り出し、役者絵と美人画でそれぞれを人気絵師に育てた。大首絵と呼ばれる上半身像を描く作品が大流行したのも重三郎・写楽・歌麿の大きな功績である。本展覧会は17世紀中ごろの錦絵とよばれる多色摺木版画の誕生から、写楽・歌麿が活躍した時代までの浮世絵で構成した。美術館本館では「古美術の中の舶来—書画に見る異文化交流—」をテーマに重文「十王経図巻」などを展示した。

展示主要作品

にせいおさがわつねよ
二世小佐川常世

にせいいちかわものすけ だて よさく
二世市川門之介の伊達の与作

なにわや
難波屋おきた

ごにんびじんあいきょうくらべ まつばやないきせがわ
五人美人愛敬競 松葉屋内喜瀬川

せっちゅうえんおう
雪中鴛鴦

ふうりゅうにしきえいせものがたり やつはし
風流錦絵伊勢物語ほ・八橋

とうしゅうさいしゃらく
東洲斎写楽筆

とうしゅうさいしゃらく
東洲斎写楽筆

きたがわうたまる
喜多川歌麿筆

きたがわうたまる
喜多川歌麿筆

すずきはるのぶ
鈴木春信筆

かつかわしゅんしょう
勝川春章筆

寛政6年（1794）

寛政6年（1794）

江戸時代

江戸時代

江戸時代

江戸時代

ウ 常設展「ようこそオーサカ、ようこそニッポン ―なにわ名所と物産図会―」^{ぶっさんずえ}

令和7年6月22日（日）～8月17日（日）

大阪で万博が開催され、世界のさまざまな事物が紹介されることにちなみ大坂の風景を描いた作品と日本各地の物産を描いた作品を中心に展覧会を構成した。近景を極端に大きく描く近接拡大構図と呼ばれる大胆な画面構成の作品や、名所を背景に人びとの滑稽な有様を描いた現代の大阪に通じる「笑い」を感じさせる作品などを展示した。近代には殖産興業が奨励され国内各地では特産品の生産が注目され、「大日本物産図会」などの作品が制作された。本展覧会は、風景画と物産図会で展覧会を構成し万博開催地である「大阪」と「日本」を感じる展覧会とした。美術館本館では「古美術の中の舶来―工芸に見る東西異文化交流―」をテーマに重文「響銅 水瓶」などを展示した。

展示主要作品

^{なにわひやつけい}浪花百景 ^{いまばし}今橋つきちの風景 ^{ふうけい}

^{なにわひやつけい}浪花百景 ^{きちすけぼたんさか}吉助牡丹盛り

^{こっけいなにわごじゅつけい}滑稽浪花五拾景 ^{どうじまこめいち}堂島米市

^{こっけいなにわごじゅつけい}滑稽浪花五拾景 ^{ますいしみず}増井清水

^{だいにほんぶっさんずえ}大日本物産図会 ^{ほっかいどうはこだてこおりゆしゅつのず}北海道函館氷輸出之図

^{だいにほんぶっさんずえ}大日本物産図会 ^{さんだいうたがわひろしげ}三代歌川広重筆

^{いずみこくさかうらさくらだいならび}和泉国境浦桜鯛并ニ魚市之図 ^{さかないちのず}

^{さんだいうたがわひろしげ}三代歌川広重筆

江戸時代

江戸時代

江戸時代

江戸時代

明治10年（1877）

明治10年（1877）

エ 常設展「上方ブロマイド ―役者絵と美人画―」

令和7年11月30日（日）～令和8年1月25日（日）

蔦屋重三郎が活躍していた同時期に上方でも浮世絵が作られるようになり、上方浮世絵と呼ばれる。本展覧会は上方浮世絵の中から役者絵と美人画を中心に構成した。上方では江戸で使用が禁止された金や銀などの高価な画材を用いた浮世絵が制作され続けるとともに、大判（およそB4サイズ）から中判（およそB5サイズ）が主流となっていた。本展覧会では小さな画面の中でも上半身像だけを描くダイナミックな画面構成など、上方浮世絵の魅力を紹介した。美術館本館では「大航海時代と美術」をテーマに「プトレマイオス世界図」などを展示した。

展示主要作品

じつかわえんざぶろう

実川延三郎の吉川橘之助

ゆうじろうあらためあさおがくじゅうろう ましばひさつぐ
勇次郎改浅尾額十郎の真柴久次

しげまつ
むめや繁松

ももむらひやくたろう ゆうすけ

百村百太郎の勇助

かつらがわれんり しがらみ

桂川連理の 柵

さだか

定高

はせがわさだのぶ

長谷川貞信筆

しゅんこうさいほくしゅう

春好斎北洲筆

しゅんこうさいさいほくえい

春江斎北英筆

しゅんちようさいほくしょう

春頂斎北松筆

いちおうていよしだき

一鶯亭芳瀧筆

ごそうていひろさだ

五粽亭広貞筆

江戸時代

江戸時代

江戸時代

江戸時代

江戸時代

江戸時代

オ 常設展「江戸のポップカルチャー浮世絵 ―江戸から現代へ―」

令和8年2月8日（日）～令和8年3月22日（日）

浮世絵が江戸時代後期にかけて現代にまで続く人気を得たひとつの契機は、蔦屋重三郎の時代を見る鋭敏な感覚があったといえる。重三郎以後の歌川広重や歌川国芳はそれぞれの得意ジャンルを作り出し、浮世絵界に確固たる地位を築いた。本展覧会は、浮世絵師たちそれぞれが得意としたジャンルの中から、現代にも通じるポップ（目新しさ、広く愛される）な世界を紹介した。現代のポップアーティストであるしりあがり寿が葛飾北斎の「富嶽三十六景」をパロディ化した作品も展示した。美術館本館では「中国古代の青銅器」をテーマに「青銅 饗餮文尊」などを展示した。

展示主要作品

むずかしいグリーン

ふがくさんじゅうろくけい こうしゅういぬめとうげ

富嶽三十六景 甲州犬目峠

ねこ あ じ
猫の当て字 うなぎ

かいうんがつたいしゅっせしちふくじん

開運合体出世七福神

とうかいどうごじゅうさんつぎほうえいどうばん みや

東海道五十三次保永堂版 宮

いけづきげいたざえもん

生月鯨太左衛門

しりあがり ^{ことぶき} 寿 筆

かつしかほくさい

葛飾北斎筆

うたがわくによし

歌川国芳筆

うたがわくによし

歌川国芳筆

うたがわひろしげ

歌川広重筆

さんだいうたがわとよくに

三代歌川豊国筆

現代

江戸時代

江戸時代

江戸時代

江戸時代

江戸時代

展覧会名		入館者数	開館日数
特別展	Over The Waves	7, 470人	50日
特別陳列	浮世絵の黄金時代	5, 865人	49日
常設展	ようこそオーサカ、ようこそニッポン	4, 106人	49日
常設展	上方ブロマイド	3, 997人	42日
常設展	江戸のポップカルチャー浮世絵	3, 998人	37日
計		25, 436人	227日

(2) 出版事業

ア 特別展「Over The Waves —南蛮・万博・ジャポニスム—」図録

特別展の開催にあわせて展示作品全点を掲載する図録を発行した。

イ 紀要24

収蔵品及び収蔵品に関わる美術作品についての研究発表を行う紀要の発行に向けての調査を行った。

(3) 情報資料収集事業

収蔵品にかかわる美術図書及び関連図書の収集と整理を行うとともに、他館の収蔵品図録や研究書などの基本文献、博物館学、文化財保存等の最新研究についての文献についても収集を行った。また博物館運営や美術品収集にかかわる情報収集を行った。

(4) 美術品整理・保存事業

美術品整理保存事業として I P M（総合的有害生物管理）により本館、新館の現状及び課題を把握するとともに、効果的な虫害対策を講じ、美術館内全体の良好な環境の維持に努めた。また、写真資料の整理保存としてフィルムでしか撮影されていない所蔵品や、新規収集品についてデジタル撮影を行い、画像をインターネット上で所蔵品を公開するデジタル・ミュージアム事業に活用した。

(5) 国際交流事業

海外の博物館施設や研究者との交流を目的として、当館のコレクションと同様のコレクションを所蔵する博物館施設を中心に出版物の寄贈を行った。

台湾の国立故宮博物院の要請を受けて、「江戸浮世の美」展へ第4次久保惣コレクションの浮世絵版画の中から「東海道五十三次保永堂版」歌川広重筆など18件78枚の貸し出しを行った。

海外研究者との交流として、上海博物館を河田館長が訪問し当館にも同種の作品が所蔵される中国近世青銅器の展覧会を見学するとともに、展覧会担当学芸員韋心滢氏と情報交換を行った。また、来館された海外研究者としては、北京の故宮博物院器物部研究館員徐琳氏が、当館所蔵の中国玉器について調査を行い、当館学芸員と意見交換を行った。

(6) 普及事業

ア 作品をより深く理解し鑑賞していただくため、展覧会の会期中に、館内施設において学芸員による作品解説を実施した。

イ 展覧会に合わせて、常設展「ようこそオーサカ、ようこそニッポン」会期中に、クリストフ・マルケ氏に

- よる講演会を開催し95名が参加した。特別展「Over The Waves」会期中に浦上満氏を招へいし開催した講演会では、87名の方が参加した。ワークショップとして、常設展「江戸のポップカルチャー浮世絵」会期中に地域の小学生109名を対象にしりあがり寿氏による浮世絵版画を題材にパロディ作品を作る企画を実施した。
- ウ 市内21の小学校に在籍する小学6年生1,812名を対象に、いずみの国歴史館、教育・こども部学校教育室と連携した社会学習（文化芸術科学ふれあい体験事業）の一環として児童が展覧会を見学し美術に親しむ場を設けた。
- エ 所蔵品をデザインに用いたオリジナル・ミュージアム・グッズとしてマグカップを製作し、ミュージアム・ショップの充実を図った。美術館の魅力を幅広い世代に広く周知するため、和泉市ふるさと元気寄附金（ふるさと納税）の返礼品として提供した。
- オ 市民創作教室において市民の創作意欲の高揚を図るため、8回の市民講座を開催し延べ83名の参加があった。市民ギャラリーでは市民による創作作品の展示を11回行い、延べ3,047名が見学した。
- カ 久保惣Eiホールにおいて良質な音楽を生演奏で楽しむことができる機会を提供するためミュージアム・コンサート等のコンサートを計68回開催し、4,954名の参加者となった。コンサート委員の協力により、チャリティコンサートを企画実施した。
- キ 茶室耐震補強工事(1期)完了にともない、完了後初めてとなる茶室での茶会を企画し、市民を対象にした煎茶会と初釜茶会を開催した。煎茶会は45名、初釜茶会は240名の参加となった。
- ク 「和泉・久保惣ミュージアムタウン推進事業」の一環としてパブリックアートに関連する所蔵品について、展示替えを行いながら陳列した。
- ケ 年間展示案内にスタンプ押印欄を設けるとともに、館内にスタンプ台を設置し、来館者向けに来館記念として活用いただいた。
- コ 桃山学院大学で開催された「いずみ万博」に共催し、和泉・久保惣ミュージアムタウンまち探索と浮世絵

摺体験を行った。

- サ 大阪・関西万博開催期間中に催された「LOCAL JAPAN展」(会期7月28日から7月31日)に枚方市、三島市、箱根町と「古き良き、江戸時代へタイムスリップ」というテーマでグループとして参加し、「東海道五十三次保永堂版」の箱根図と三島図の摺体験を行った。体験者数は延べ640名となった。
- シ 大阪文化資源魅力向上事業と連携し8月16日に「久保惣記念演劇祭～文楽とオペラの和洋舞台を楽しもう～」を開催した。延べ209名の参加者があり、あわせて市民ギャラリーで開催した摺体験参加者は121名となった。
- ス インバウンドモニターツアーを実施し、中国、インドネシア、フランスなどの外国人26名が参加した。
- セ 夏休み子どもデイを実施し、243名の児童が来館した。
- ソ 和泉市久保惣記念美術館アンバサダー認定事業として桃山学院大学の留学生8名とALT3名の計11名を認定した。

(7) 広報活動事業

- ア 市の広報、各種マスコミなどへの情報提供に加え、多くの来館者を見込める団体への情報提供を引き続き行った。大阪府内でコンシェルジュ係を備えるホテルに、宿泊客への案内に活用いただけるよう展覧会情報を送付した。
- イ SNSを活用し、美術館紹介や展覧会情報の拡散を図った。X(旧Twitter)への投稿は239件、Instagramへの投稿は152件となった。
- ウ 美術館をより一層知って頂く為、新たに制作した'25 UKIYOE EXPO in IZUMIプロモーション映像や当館の紹介映像を館内で放映するとともに、美術館公式YouTube等で公開した。

エ 表千家の機関誌「同門」や女性誌「SAVVY」など計36件の広報掲載があった。

(8) 特別研究事業

令和8年度に和泉市制施行70周年を迎えることを記念し、令和6年度に防災協力協定を締結した横須賀美術館の所蔵品から近現代美術を紹介する展覧会を開催するための調査を行った。同館の学芸員と協議を行いながら、明治時代以降の日本の画家たちの作品、谷内六郎の作品、海をテーマとした作品、横須賀で活躍した画家の作品、などのテーマから作品の選定をすすめた。また、所蔵品にかかわる調査として和歌山県有田市宮原神社が所蔵する住吉具慶筆「板絵三十六歌仙扁額」や、東京国立博物館で展示された喜多川歌麿筆「ポッピンを吹く女」を調査した。

2. 役員等及び職員に関する事項

(1) 評議員名簿

(令和8年3月31日現在)

役 職	氏 名	就 任 年 月 日	経 歴
評 議 員	久 保 行 央	令 和 7 年 5 月 2 9 日	会 社 役 員
評 議 員	久 保 尚 平	令 和 7 年 5 月 2 9 日	会 社 役 員
評 議 員	田 中 敏 雄	令 和 7 年 5 月 2 9 日	大 阪 芸 術 大 学 名 誉 教 授
評 議 員	紀 之 定 淳 規	令 和 7 年 5 月 2 9 日	久保惣 Ei ホールコンサート委員
評 議 員	深 堀 知 子	令 和 7 年 5 月 2 9 日	弁 護 士
評 議 員	井 上 敏	令 和 7 年 5 月 2 9 日	桃 山 学 院 大 学 経 営 学 部 教 授
評 議 員	藤 原 安 次	令 和 7 年 5 月 2 9 日	元 和 泉 市 教 育 委 員 会 委 員
評 議 員	泉 紀 子	令 和 7 年 5 月 2 9 日	羽 衣 国 際 大 学 名 誉 教 授
評 議 員	國 賀 由 美 子	令 和 7 年 5 月 2 9 日	元 大 谷 大 学 博 物 館 館 長
評 議 員	真 嶋 潤 子	令 和 7 年 5 月 2 9 日	関 西 国 際 セ ン タ ー 所 長
評 議 員	平 田 知 敬	令 和 7 年 5 月 2 9 日	大 阪 観 光 局 常 務 理 事
評 議 員	森 吉 豊	令 和 7 年 5 月 2 9 日	和 泉 市 副 市 長

(2) 役員名簿

顧問

(令和8年3月31日現在)

役 職	氏 名	就 任 年 月 日	経 歴
顧 問	辻 宏 康	平 成 2 5 年 5 月 2 8 日	和 泉 市 長

理事・監事

(令和8年3月31日現在)

役 職	氏 名	就 任 年 月 日	経 歴
理 事 長	藤 原 明	令 和 7 年 5 月 2 9 日	元 和 泉 市 副 市 長
常 務 理 事	横 田 昌 幸	令 和 7 年 5 月 2 9 日	和 泉 市 久 保 惣 記 念 美 術 館 館 長 代 理
理 事	大 槻 亮 志	令 和 7 年 5 月 2 9 日	和 泉 市 教 育 委 員 会 教 育 長
理 事	辻 公 伸	令 和 7 年 5 月 2 9 日	和 泉 市 教 育 委 員 会 教 育 次 長 兼 生 涯 学 習 部 長
理 事	河 田 昌 之	令 和 7 年 5 月 2 9 日	和 泉 市 久 保 惣 記 念 美 術 館 館 長
理 事	橋 詰 文 之	令 和 7 年 5 月 2 9 日	和 泉 市 久 保 惣 記 念 美 術 館 総 括 参 事 兼 副 館 長
監 事	高 橋 正 明	令 和 7 年 5 月 2 9 日	会 社 役 員
監 事	笠 井 慎 五	令 和 7 年 5 月 2 9 日	税 理 士

(3) 評議員、役員数

(令和8年3月31日現在)

区 分	前 年 度 末	就 任	辞 任	本 年 度 末
評 議 員	12人	4人	2人	10人
理 事	6人	1人	1人	6人
監 事	2人	0人	0人	2人

(4) 職員数

(令和8年3月31日現在)

財団職員(6人)			市職員(11人)			計
職 員	非 常 勤 職 員	臨 時 職 員	職 員	会 計 年 度 任 用 職 員	再 任 用 職 員	
0人	4人	2人	8人	3人	0人	17人

3. 役員会等に関する事項

(1) 評議員会

区分	開催（決議）年月日	議案番号	件 名	結 果
定時	令和7年5月29日	報告第1号	令和7年度一般財団法人和泉市文化振興財団 事業計画及び収支予算書について	—
		議案第1号	令和6年度一般財団法人和泉市文化振興財団 事業報告及び決算書（案）について	可 決
		議案第2号	一般財団法人和泉市文化振興財団 評議員の選任について	可 決
		議案第3号	一般財団法人和泉市文化振興財団 理事の選任について	可 決
		議案第4号	一般財団法人和泉市文化振興財団 監事の選任について	可 決

(2) 理事会

区分	開催（決議）年月日	議案番号	件 名	結 果
第1回	令和7年5月14日	議案第1号	令和6年度一般財団法人和泉市文化振興財団 事業報告及び決算書（案）について	可 決
第2回	令和7年5月29日	議案第1号	一般財団法人和泉市文化振興財団 理事長の選任について	可 決
		議案第2号	一般財団法人和泉市文化振興財団 常務理事の選任について	可 決

区分	開催（決議）年月日	議案番号	件 名	結 果
第 3 回	令和 7 年 8 月 5 日 （書面決議）	議案第 1 号	一般財団法人和泉市文化振興財 会計処理規定の一部改正について	可 決
		議案第 2 号	一般財団法人和泉市文化振興財 処務規定の一部改正について	可 決
第 4 回	令和 8 年 3 月 2 7 日	議案第 1 号	令和 8 年度一般財団法人和泉市文化振興財団 事業計画及び収支予算書(案)について	可 決
		議案第 2 号	令和 8 年度一般財団法人和泉市文化振興財団 定時評議員会の開催について	可 決

第2 決算報告書

1. 貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	20,747,891	27,065,036	△ 6,317,145
未収金	379,170	304,010	75,160
棚卸資産	6,151,185	6,910,517	△ 759,332
立替金	0	0	0
流動資産合計	27,278,246	34,279,563	△ 7,001,317
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	600,000,000	600,000,000	0
基本財産合計	600,000,000	600,000,000	0
(2) その他固定資産			
リース資産	4,380,000	4,380,000	0
器具備品	300,000	300,000	0
什器備品	2,825,358	3,114,798	△ 289,440
減価償却累計額	△ 3,702,413	△ 2,812,516	△ 889,897
美術品等整備保存積立預金	0	0	0
その他固定資産合計	3,802,945	4,982,282	△ 1,179,337
固定資産合計	603,802,945	604,982,282	△ 1,179,337
資産合計	631,081,191	639,261,845	△ 8,180,654
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	18,402,748	25,118,442	△ 6,715,694
預り金	1,127,663	654,660	473,003
リース負債	3,212,000	4,088,000	△ 876,000
賞与引当金	1,521,000	1,520,294	706
流動負債合計	24,263,411	31,381,396	△ 7,117,985
負債合計	24,263,411	31,381,396	△ 7,117,985
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	606,817,780	607,880,449	△ 1,062,669
正味財産合計	606,817,780	607,880,449	△ 1,062,669
負債及び正味財産合計	631,081,191	639,261,845	△ 8,180,654

２．正味財産増減計算書

令和７年４月１日から令和８年３月３１日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,777,118	1,777,118	0
基本財産運用利息	1,777,118	1,777,118	0
事業収益	68,110,102	76,691,207	△ 8,581,105
地方公共団体受託料	65,922,630	74,167,107	△ 8,244,477
講座受講料	69,500	89,000	△ 19,500
資料貸出	870,000	1,170,000	△ 300,000
グッズ売上	909,580	995,500	△ 85,920
施設活用収益	47,192	147,000	△ 99,808
茶会等参加料	277,000	57,800	219,200
その他	14,200	64,800	△ 50,600
雑収益	449,935	1,241,671	△ 791,736
受取利息	2,935	744	2,191
雑収益	447,000	1,240,927	△ 793,927
経常収益計	70,337,155	79,709,996	△ 9,372,841

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(2) 経常費用			
事業費	65,375,963	77,497,563	△ 12,121,600
役員報酬	832,000	800,000	32,000
給料手当	9,148,431	8,904,000	244,431
賃金	4,631,612	4,933,928	△ 302,316
賞与引当金繰入額	1,151,184	1,185,512	△ 34,328
福利厚生費	2,316,301	2,132,228	184,073
旅費	1,083,794	1,273,915	△ 190,121
通信運搬費	9,889,447	8,833,167	1,056,280
減価償却費	303,336	489,721	△ 186,385
リース資産減価償却費	876,000	292,000	584,000
消耗什器備品費	583,737	630,871	△ 47,134
消耗品費	2,777,590	4,032,419	△ 1,254,829
印刷製本費	1,051,970	417,957	634,013
燃料費	69,838	65,277	4,561
賃借料	2,584,626	2,686,458	△ 101,832
保険料	1,039,620	496,470	543,150
諸謝金	1,253,400	1,183,410	69,990
租税公課	2,689,981	2,582,800	107,181
負担金	0	65,000	△ 65,000
委託費	16,158,787	27,903,208	△ 11,744,421
報償費	5,724,250	5,593,000	131,250
雑費	450,727	194,546	256,181
期首商品棚卸高	6,910,517	9,712,193	△ 2,801,676
期末商品棚卸高	△ 6,151,185	△ 6,910,517	759,332

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費	6,023,860	5,723,804	300,056
役員報酬	949,000	910,000	39,000
給料手当	3,100,172	3,019,200	80,972
賞与引当金繰入額	330,914	334,782	△ 3,868
福利厚生費	525,302	472,648	52,654
会議費	7,032	5,836	1,196
賃借料	382,800	376,640	6,160
租税公課	304,019	262,850	41,169
負担金	24,000	24,000	0
委託費	330,000	0	330,000
報酬金	51,591	51,412	179
雑費	19,030	266,436	△ 247,406
経常費用計	71,399,823	83,221,367	△ 11,821,544
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,062,668	△ 3,511,371	2,448,703
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,062,668	△ 3,511,371	2,448,703

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
雑収入	0	23,011	△ 23,011
経常外収益計	0	23,011	△ 23,011
(2) 経常外費用			
雑損失	0	0	0
固定資産除却損	1	1	0
経常外費用計	1	1	0
当期経常外増減額	△ 1	23,010	△ 23,011
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,062,669	△ 3,488,361	2,425,692
一般正味財産期首残高	607,880,449	611,368,810	△ 3,488,361
一般正味財産期末残高	606,817,780	607,880,449	△ 1,062,669
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	606,817,780	607,880,449	△ 1,062,669

正味財産増減計算書内訳表
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	実 施 事 業 等 会 計			法 人 会 計	内部取引 控 除	合 計
	文化振興事業	共 通	小 計			
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	0	0	0	1,777,118	0	1,777,118
基本財産運用利息	0	0	0	1,777,118	0	1,777,118
事業収益	68,110,102	0	68,110,102	0	0	68,110,102
地方公共団体受託料	65,922,630	0	65,922,630	0	0	65,922,630
講座受講料	69,500	0	69,500	0	0	69,500
資料貸出	870,000	0	870,000	0	0	870,000
グッズ売上	909,580	0	909,580	0	0	909,580
施設活用収益	47,192	0	47,192	0	0	47,192
茶会等参加料	277,000	0	277,000	0	0	277,000
その他	14,200	0	14,200	0	0	14,200
雑収益	447,000	0	447,000	2,935	0	449,935
受取利息	0	0	0	2,935	0	2,935
雑収益	447,000	0	447,000	0	0	447,000
経常収益計	68,557,102	0	68,557,102	1,780,053	0	70,337,155

(単位：円)

科 目	実 施 事 業 等 会 計			法 人 会 計	内部取引 控 除	合 計
	文化振興事業	共 通	小 計			
(2) 経常費用						
事業費	65,375,963	0	65,375,963	0	0	65,375,963
役員報酬	832,000	0	832,000	0	0	832,000
給料手当	9,148,431	0	9,148,431	0	0	9,148,431
賃金	4,631,612	0	4,631,612	0	0	4,631,612
賞与引当金繰入額	1,151,184	0	1,151,184	0	0	1,151,184
福利厚生費	2,316,301	0	2,316,301	0	0	2,316,301
旅費	1,083,794	0	1,083,794	0	0	1,083,794
通信運搬費	9,889,447	0	9,889,447	0	0	9,889,447
減価償却費	303,336	0	303,336	0	0	303,336
リース資産減価償却費	876,000	0	876,000	0	0	876,000
消耗什器備品費	583,737	0	583,737	0	0	583,737
消耗品費	2,777,590	0	2,777,590	0	0	2,777,590
印刷製本費	1,051,970	0	1,051,970	0	0	1,051,970
燃料費	69,838	0	69,838	0	0	69,838
賃借料	2,584,626	0	2,584,626	0	0	2,584,626
保険料	1,039,620	0	1,039,620	0	0	1,039,620
諸謝金	1,253,400	0	1,253,400	0	0	1,253,400
租税公課	2,689,981	0	2,689,981	0	0	2,689,981
委託費	16,158,787	0	16,158,787	0	0	16,158,787
報償費	5,724,250	0	5,724,250	0	0	5,724,250
雑費	450,727	0	450,727	0	0	450,727
期首商品棚卸高	6,910,517	0	6,910,517	0	0	6,910,517
期末商品棚卸高	△ 6,151,185	0	△ 6,151,185	0	0	△ 6,151,185
管理費	0	0	0	6,023,860	0	6,023,860
役員報酬	0	0	0	949,000	0	949,000
給料手当	0	0	0	3,100,172	0	3,100,172
賞与引当金繰入額	0	0	0	330,914	0	330,914
福利厚生費	0	0	0	525,302	0	525,302

(単位：円)

科 目	実 施 事 業 等 会 計			法 人 会 計	内部取引 控 除	合 計
	文化振興事業	共 通	小 計			
会議費	0	0	0	7,032	0	7,032
賃借料	0	0	0	382,800	0	382,800
租税公課	0	0	0	304,019	0	304,019
負担金	0	0	0	24,000	0	24,000
委託費	0	0	0	330,000	0	330,000
報酬金	0	0	0	51,591	0	51,591
雑費	0	0	0	19,030	0	19,030
経常費用計	65,375,963	0	65,375,963	6,023,860	0	71,399,823
評価損益等調整前当期経常増減額	3,181,139	0	3,181,139	△ 4,243,807	0	△ 1,062,668
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	3,181,139	0	3,181,139	△ 4,243,807	0	△ 1,062,668

(単位：円)

科 目	実 施 事 業 等 会 計			法 人 会 計	内部取引 控 除	合 計
	文化振興事業	共 通	小 計			
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
雑収入	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
雑損失	0	0	0	0	0	0
固定資産除却損	1	0	1	0	0	1
経常外費用計	1	0	1	0	0	1
当期経常外増減額	△ 1	0	△ 1	0	0	△ 1
他会計振替額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,181,138	0	3,181,138	△ 4,243,807	0	△ 1,062,669
一般正味財産期首残高	598,444,776	0	598,444,776	9,435,673	0	607,880,449
一般正味財産期末残高	601,625,914	0	601,625,914	5,191,866	0	606,817,780
II 指定正味財産増減の部						
受取補助金等	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	601,625,914	0	601,625,914	5,191,866	0	606,817,780

3. 財務諸表に対する注記
令和8年3月31日現在

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価方法

満期保有目的の債券…償却原価法（定額法）によっている。

満期保有目的の債権

(令和8年3月31日現在)

内 訳	帳簿価格	時 価	評価額	備 考	関連当事者との取引の内訳
北海道公債 北海道令和2年度第8回公募公債	100,000,000円	92.67円	92,670,000円	年利率 0.135% 利払日 3/25・9/25 償還日 2030年8月28日	大和証券株式会社
共同発行地方 第211回共同発行市場公募地方債	90,000,000円	92.30円	83,070,000円	年利率 0.125% 利払日 2/25・8/25 償還日 2030年10月25日	大和証券株式会社
811回 東京都公募公債	10,000,000円	91.90円	9,190,000円	振替債 年利率 0.11% 利払日 2/25・8/25 償還日 2030年12月20日	みずほ証券株式会社
238回 共同発行市場公募地方債	200,000,000円	91.52円	183,040,000円	振替債 年利率 0.8% 利払日 2/25・8/25 償還日 2033年1月25日	みずほ証券株式会社
令和2年度1回 浜松市公募公債	200,000,000円	91.75円	183,500,000円	振替債 年利率 0.12% 利払日 1/25・7/25 償還日 2031年1月24日	みずほ証券株式会社

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く。）…定額法によっている。

リース資産…所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法によっている。

(3) ファイナンス・リース取引

所有権移転外ファイナンス・リース取引

有形固定資産…車両

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込み方式で行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	600,000,000	0	0	600,000,000
小 計	600,000,000	0	0	600,000,000
特定資産				
	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	600,000,000	0	0	600,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	当 末 残 高	(うち指定正味財産からの充 当額)	(うち一般正味財産からの充 当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	600,000,000	(0)	(600,000,000)	-
小 計	600,000,000	(0)	(600,000,000)	-
特定資産				
	0	(0)	(0)	(0)
小 計	0	(0)	(0)	(0)
合 計	600,000,000	(0)	(600,000,000)	(0)

4. 財産目録
令和8年3月31日現在

(単位：円)

科 目		金 額		
I. 資 産 の 部				
1. 流 動 資 産				
現金預金		20,747,891		
現金	現金手許有高等	700,142		
当座預金	池田泉州銀行和泉支店154170	18,939,545		
普通預金	池田泉州銀行和泉支店517631	423,301		
普通預金	池田泉州銀行和泉支店977160	3		
普通預金	三井住友銀行和泉支店606438	183,202		
普通預金	三井住友銀行和泉支店716532	501,284		
普通預金	大和ネクスト銀行3192693	414		
未 収 金		379,170		
棚 卸 資 産		6,151,185		
流動資産合計			27,278,246	
2. 固 定 資 産				
基 本 財 産				
	投資有価証券	600,000,000		
基本財産合計		600,000,000		
その他の固定資産				
リース資産		4,380,000		
工具器具備品		300,000		
什 器 備 品		2,825,358		
減価償却累計額		△ 3,702,413		
その他の固定資産合計		3,802,945		
固定資産合計			603,802,945	
資 産 合 計				631,081,191
II. 負 債 の 部				
1. 流 動 負 債				
未払金		18,402,748		
預り金	入館料収入、社会保険料、源泉税等	1,127,663		
リース負債		3,212,000		
賞与引当金		1,521,000		
流動負債合計			24,263,411	
負 債 合 計				24,263,411
正 味 財 産				606,817,780

第3 監 査 報 告

令和8年5月12日

一般財団法人和泉市文化振興財団

理事長 藤原 明 殿

監 事 高橋 正明

監 事 笠井 慎五

私たち監事は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度の理事の職務執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書）並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

（3）公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

令和 7 年度

一般財団法人和泉市文化振興財団決算説明資料

一般財団法人和泉市文化振興財団

正味財産増減計算書
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	増 減 率 %	摘 要
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	1,777,118	1,777,118	0	0.0	
基本財産運用利息	1,777,118	1,777,118	0	0.0	
事業収益	68,110,102	76,691,207	△ 8,581,105	△ 11.2	
地方公共団体受託料	65,922,630	74,167,107	△ 8,244,477	△ 11.1	
講座受講料	69,500	89,000	△ 19,500	△ 21.9	
資料貸出	870,000	1,170,000	△ 300,000	△ 25.6	
グッズ売上	909,580	995,500	△ 85,920	△ 8.6	
施設活用収益	47,192	147,000	△ 99,808	△ 67.9	
茶会等参加料	277,000	57,800	219,200	379.2	
その他	14,200	64,800	△ 50,600	△ 78.1	
雑収益	449,935	1,241,671	△ 791,736	△ 63.8	
受取利息	2,935	744	2,191	294.5	
雑収益	447,000	1,240,927	△ 793,927	△ 64.0	
経常収益計	70,337,155	79,709,996	△ 9,372,841	△ 11.8	

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	増 減 率 %	摘 要
(2) 経常費用					
事業費	65,375,963	77,497,563	△ 12,121,600	△ 15.6	
役員報酬	832,000	800,000	32,000	4.0	理事長役員報酬（管理費折半）
給料手当	9,148,431	8,904,000	244,431	2.7	非常勤職員報酬3名
賃金	4,631,612	4,933,928	△ 302,316	△ 6.1	臨時職員報酬2名（夏季・冬季手当含む）
賞与引当金繰入額	1,151,184	1,185,512	△ 34,328	△ 2.9	非常勤職員3名
福利厚生費	2,316,301	2,132,228	184,073	8.6	非常勤職員3名・臨時職員2名 健康保険・厚生年金他
旅費	1,083,794	1,273,915	△ 190,121	△ 14.9	他館収蔵品借用関連旅費他
通信運搬費	9,889,447	8,833,167	1,056,280	12.0	展覧会展示作品運搬費 9,032,940円 インターネット回線料 53,827円 図録広報物等発送費他 802,680円
減価償却費	303,336	489,721	△ 186,385	△ 38.1	カメラ・プロジェクター等備品
リース資産減価償却費	876,000	292,000	584,000	200.0	自動車リース資産減価償却
消耗什器備品費	583,737	630,871	△ 47,134	△ 7.5	美術関連図書・定期刊行物等購入費
消耗品費	2,777,590	4,032,419	△ 1,254,829	△ 31.1	美術館運営管理に係る消耗品一式
印刷製本費	1,051,970	417,957	634,013	151.7	展覧会パネル制作 8,470円 グッズ用絵葉書印刷他 137,500円 チラシ印刷他 510,000円 年間展示案内他増刷 396,000円
燃料費	69,838	65,277	4,561	7.0	ガソリン代
賃借料	2,584,626	2,686,458	△ 101,832	△ 3.8	ソフトウェアライセンス料 957,726円 セミセルフレジ保守・賃貸借料 821,040円 美術館用車他レンタル料 480,700円 A E Dリース料 52,360円 画像利用料他 272,800円
保険料	1,039,620	496,470	543,150	109.4	特別展作品輸送保険料 1,000,000円 協力員ボランティア保険料他 39,620円
諸謝金	1,253,400	1,183,410	69,990	5.9	音楽ホール使用者謝礼 713,000円 講師謝礼金他 540,400円
租税公課	2,689,981	2,582,800	107,181	4.1	消費税・法人府市民税 2,614,381円 印紙代等 75,600円
負担金	0	65,000	△ 65,000	△ 100.0	

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	増 減 率 %	摘 要
委託費	16,158,787	27,903,208	△ 11,744,421	△ 42.1	特別展図録作成委託費 1,969,000円 ホームページ運用管理委託費 944,460円 ピアノ保守点検委託費 473,200円 展覧会案内等の広報物製作委託費 5,516,680円 IPM業務一式(美術品輸送費含む)委託費 215,622円 講演会・市民講座他委託費 1,681,483円 煎茶会・初釜委託費 430,200円 庭園剪定管理業務委託費 1,200,604円 清掃業務委託費他 3,354,088円 来客用駐車場警備委託他 373,450円
報償費	5,724,250	5,593,000	131,250	2.3	ボランティア協力員
雑費	450,727	194,546	256,181	131.7	音楽著作物使用料・演奏使用料 90,384円 振込手数料他 360,343円
期首商品棚卸高	6,910,517	9,712,193	△ 2,801,676	△ 28.8	
期末商品棚卸高	△ 6,151,185	△ 6,910,517	759,332	△ 11.0	
管理費	6,023,860	5,723,804	300,056	5.2	
役員報酬	949,000	910,000	39,000	4.3	理事長役員報酬（事業費折半） 理事会・評議委員出席謝金
給料手当	3,100,172	3,019,200	80,972	2.7	非常勤職員報酬1名
賞与引当金繰入額	330,914	334,782	△ 3,868	△ 1.2	非常勤職員1名
福利厚生費	525,302	472,648	52,654	11.1	非常勤職員1名 健康保険・厚生年金他
会議費	7,032	5,836	1,196	20.5	理事会・評議員会費用
賃借料	382,800	376,640	6,160	1.6	公益会計ソフト使用料
租税公課	304,019	262,850	41,169	15.7	消費税・法人府市民税
負担金	24,000	24,000	0	0.0	和泉商工会議所会費
委託費	330,000	0	330,000	—	税理士顧問業務委託費
報酬金	51,591	51,412	179	0.3	役員登記事務費
雑費	19,030	266,436	△ 247,406	△ 92.9	ネットバンキング手数料他

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	増 減 率 %	摘 要
経常費用計	71,399,823	83,221,367	△ 11,821,544	△ 14.2	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,062,668	△ 3,511,371	2,448,703	△ 69.7	
基本財産評価損益等	0	0	0	0.0	
特定資産評価損益等	0	0	0	0.0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0.0	
評価損益等計	0	0	0	0.0	
当期経常増減額	△ 1,062,668	△ 3,511,371	2,448,703	△ 69.7	

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	増 減 率 %	摘 要
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
雑収入	0	23,011	△ 23,011	—	
経常外収益計	0	23,011	△ 23,011	—	
(2) 経常外費用					
雑損失	0	0	0	0.0	
固定資産除却損	1	1	0	0.0	
経常外費用計	1	1	0	0.0	
当期経常外増減額	△ 1	23,010	△ 23,011	△ 100.0	
他会計振替額	0	0	0	0.0	
当期一般正味財産増減額	△ 1,062,669	△ 3,488,361	2,425,692	△ 69.5	
一般正味財産期首残高	607,880,449	611,368,810	△ 3,488,361	△ 0.6	
一般正味財産期末残高	606,817,780	607,880,449	△ 1,062,669	△ 0.2	
II 指定正味財産増減の部					
受取補助金等	0	0	0	0.0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	0.0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0.0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	0.0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0.0	
III 正味財産期末残高	606,817,780	607,880,449	△ 1,062,669	△ 0.2	

令和 8 年度 一般財団法人和泉市文化振興財団
事業計画及び収支予算書

一般財団法人和泉市文化振興財団

目 次

第 1	事業計画書	3
第 2	収支予算書	10

頁数には表紙・目次等を含みます。

第1 事業計画書

1. 研究発表展事業

令和8年度は和泉市制施行70周年にあたり、本年度の展覧会はすべて70周年記念展として開催する。

- (1) 特別展「Ocean View・横須賀ストーリー ―横須賀美術館コレクション展―」
令和8年10月25日（日）～12月25日（金）

和泉市と令和6年度に防災協定を締結した横須賀美術館のコレクションを紹介する展覧会を開催する。横須賀美術館は東京湾に臨む三浦半島にある美術館で、海を描く絵画や、日本近代洋画のコレクションが知られている。また、長年にわたり週刊誌の表紙を描いた谷内六郎の原画もコレクションの特色となっている。本展覧会は、海への憧憬を表現する作品や、日本近代洋画の俊英たちの作品を約70点展示し、横須賀美術館の魅力を伝える内容とする。

展示予定主要作品

モレー	うめはらりゅうざぶろう 梅原龍三郎	1911年	横須賀美術館蔵
ビルマの婦人 ^{ふじん}	こいそりょうへい 小磯良平	20世紀	横須賀美術館蔵
窓のある建物 ^{まど たてもの} （パリ風景 ^{ふうけい} ）	さえきゆうぞう 佐伯祐三	1925年	横須賀美術館蔵
静浦風景 ^{しずうらふうけい}	かのこぎたけしろう 鹿子木孟郎	20世紀	横須賀美術館蔵

海のサイダー
小港

谷内六郎
朝井勘右衛門

1957年

横須賀美術館蔵

1947年

横須賀美術館蔵

(2) 特別展「初！全点一挙公開 久保惣の西洋絵画 ―モネ、ルノワール、ゴッホをはじめとして―」

令和8年7月5日（日）～10月4日（日）

当館が所蔵する寄託品も含めた西洋美術を一挙公開する。平成9年の新館開館から西洋美術の展示室が設けられ、年間通して西洋美術を鑑賞いただいていた。今回、市制施行70周年記念として、初めて西洋美術25点を全点一挙に公開するとともに、他館の西洋絵画も借用し陳列を行う。モネ、ルノワール、ゴッホなど印象派の絵画、ピカソの版画、ロダンの彫刻など、日本人に親しまれている近代の西洋美術を楽しんでいただく機会とする。本展覧会は新館で実施し、本館では中国の工芸品の陳列を行う。

展示予定主要作品

睡蓮	クロード・モネ	1907年
花飾りの女	オーギュスト・ルノワール	1906～1919年
紡ぎ車を繰る女	ファン・ゴッホ	1883～1884年
坐る女	パブロ・ピカソ	1947年
考える人	オーギュスト・ロダン	1880年(原型)

(3) コレクション特別陳列展（特別陳列）「北斎・広重 ―絶景！ 頂上決戦―」

令和8年4月12日（日）～6月14日（日）

浮世絵において特に風景画にすぐれた絵師である葛飾北斎と歌川広重の作品を紹介する展覧会を開催す

る。北斎は広重よりもおよそ40歳年長で、東海道を画題とするシリーズも広重より早く制作しているが、晩年に至り制作された富嶽三十六景に北斎の実力が結実し代表作となった。広重は、北斎が富嶽三十六景を制作していた同時期に版元保永堂より代表作といえる東海道五十三次を出版した。富士山を全面に描いたり、遠景に配置したりする大胆な画面構成の北斎作品と、旅人たちが旅で出会う人々の様子や旅情を感じさせる風景を描いた広重作品の魅力を紹介する。本展覧会は新館で開催し、本館では国宝、重要文化財を主とする書画、工芸品の陳列を行う。

展示予定主要作品

ふがくさんじゅうろくけい がいふうかいせい
富嶽三十六景 凱風快晴

しゅんきょうごじゅうさんだのうち はら
春興五十三駄之内 原

しょこくたきめぐ しもつけくろかみやま たき
諸国瀧廻り 下野黒髪山きりふりの滝

とうかいどうごじゅうさんつぎほえいどうばん はら
東海道五十三次保永堂版 原

ごじゅうさんつぎめいしよずえ おかざき や がわ
五十三次名所図会 岡崎 矢はき川 やはきのはし

めいしよえどひやつけい
名所江戸百景 するがてふ

かつしかほくさい
葛飾北斎筆 天保3年（1832）頃

かつしかほくさい
葛飾北斎筆 享和4年（1804）

かつしかほくさい
葛飾北斎筆 天保4年（1833）

うたがわひろしげ
歌川広重筆 天保5年（1834）頃

うたひろしげ
歌川広重筆 安政2年（1855）

うたがわひろしげ
歌川広重筆 安政3年（1856）

（4）コレクション企画展（常設展）「茶の湯の美—千利休が開いた世界—」

令和9年1月17日（日）～3月22日（月・振）

市制施行70周年記念の展覧会の最後を飾る企画として、浮世絵、西洋美術とともに美術館の顔の一つである茶道具をとりあげる。久保家の歴代代表者が収集し和泉市に寄贈された茶道具は、国宝・重要文化財を含む日本、中国の工芸品の精華ともいえる内容となっている。利休ゆかりの作品も出陳し、日本の美意識に

大きな影響をもたらした利休の茶の湯の世界にも注目し展示を構成する。また、秀吉が製作させた黄金の茶室の復元(京都市蔵)を借用し、侘びに止まらない茶道の一面も紹介する。本展は本館で開催し、新館ではやまと絵を主とする日本絵画の陳列を行う。

展示予定主要作品

国宝	せいじ 青磁 ほうおうみみはな 鳳凰耳花生 ぼんせい 銘万声	中国・南宋時代
重要文化財	きせと 黄瀬戸 りゅうこはな 立鼓花入 たびまくら 銘旅枕	桃山時代
重要文化財	からつ 唐津 ちやわん 茶碗 さんぼう 銘三宝	桃山時代
	たんば 丹波 ちやいれ 茶入 やましな 銘山科	江戸時代
	せと 瀬戸 てんもくちやわん 天目茶碗	室町時代
	しりはりがま 尻張釜 よじろう 与次郎	桃山時代
	せんのにきゆうぞう 千利休像 とさみつよし 土佐光芳筆	江戸時代

2. 出版事業

- (1) 特別展「Ocean View・横須賀ストーリー ―横須賀美術館コレクション展―」図録
特別展の開催にあわせて展示作品を掲載する図録を発行する。
- (2) 紀要24
収蔵品及び収蔵品に関わる美術作品についての研究発表を行う紀要を発行する。

3. 情報資料収集事業

収蔵品にかかわる美術図書及び関連図書の収集と整理を行うとともに、他館の収蔵品図録や研究書などの基本文献を収集する。また茶室や茶道等に関連する文献をはじめ、博物館学、文化財保存等の最新研究についての文献についても収集を行う。また博物館運営や美術品収集にかかわる情報収集を行う。

4. 美術品整理・保存事業

所蔵品や写真資料の整理と保存を行う。日常の展示室、収蔵庫の保全を行い、美術館内全体の良好な環境の維持に努める。また、フィルムでしか撮影されていない所蔵品や、新規収集品についてデジタル撮影を行う。これらはインターネット上で所蔵品を公開するデジタル・ミュージアム事業に画像を活用する。

5. 国際交流事業

当館の活動を海外の博物館施設や研究者に紹介し、相互交流やインバウンドへとつなげる事業を実施する。当館のコレクションと同様のコレクションを所蔵する博物館施設を対象に出版物の交換として展覧会図録の発送を行う。

6. 普及事業

(1) 市制施行70周年を記念し、これまでになかった美術館で楽しんでいただく企画を実施する。

- ・KUBOSO プロジェクションマッピングとナイトミュージアム
- ・子どもと保護者が楽しめるコンサートを実施する「0才からOK! ふれあいコンサート」

- ・蚤の市の開催、キッチンカーによる飲食提供
- ・展覧会スタンプラリー
- ・パブリックアート散策
- ・「KUBOSO 猫ちゃんコンクール」として猫をテーマとした公募展

- (2) 作品をより深く理解し鑑賞していただくため、展覧会の会期中に、館内施設において学芸員による作品解説を実施する。
- (3) 特別展「Ocean View・横須賀ストーリー ―横須賀美術館コレクション展―」の会期中に横須賀美術館学芸員を招いた講演会、特別展「初！全点一挙公開 久保惣の西洋絵画 ―モネ、ルノワール、ゴッホをはじめとして―」では当館館長による講演会を実施する。
- (4) 市内の小学6年生を対象に、いずみの国歴史館、教育・こども部学校教育室と連携した社会学習（文化芸術科学ふれあい体験事業）の一環として児童が展覧会作品について学ぶ場を設ける。
- (5) 市内の中学校からの依頼を受け、当館を希望する生徒の職場体験学習に協力する。
- (6) 近隣の大学からの依頼を受け、学芸員資格取得課程を履修する大学生を対象に博物館実習を行う。
- (7) 市民創作教室において市民の創作意欲の高揚を図るため、各種市民講座を開催するとともに、市民ギャラリーでは市民による創作作品の展示を行う。
- (8) 久保惣E i ホールにおいてミュージアム・コンサート等のコンサートを主催し、良質な音楽を生演奏で楽しむことができる機会を提供する。コンサート委員の協力により、チャリティコンサートを企画実施する。
- (9) 伝統文化に親しむ機会を提供するため、煎茶会や初釜を茶室にて開催する。
- (10) 「和泉・久保惣ミュージアムタウン推進事業」の一環としてパブリックアート「アートガッシュ」に関連する所蔵品について、展示替えを行いながら陳列する。また、ミュージアムタウン内にある接客サービス業へ係る店舗へ美術品（レプリカ）の貸出をおこなう。

7. 広報活動事業

- (1) 市の広報、各種マスコミなどへの情報提供に加え、多くの来館者を見込める団体への情報提供を引き続き行う。
- (2) XやインスタグラムなどのSNS（有料広告を含む）を活用し、美術館紹介や展覧会情報の拡散を促す。情報配信プラットフォームであるPRTIMESへ展覧会開催毎にプレスリリースを登録し、展覧会情報の拡散を図る。
- (3) 大阪堂島浜タワー16階の観光展望施設「WowUsワオアス」でのパネル展示及び動画放映を継続し、美術館の認知度アップを図る。
- (4) 関西国際空港国内線ラウンジに源氏物語手鑑の大型複製画、枯木鳴鴉図複製の掲示を継続し、美術館の認知度アップを図る。

8. 特別研究事業

令和9年度は陶磁器の装飾形態をテーマに特別展を企画・開催する。縄文土器の過剰なまでの装飾や近世の飄逸な装飾など、時代を劃した作品にスポットを当て、近現代の芸術家による陶芸作品も加え、やきものの多様な造形を鑑賞する展覧会とする。

第2 収 支 予 算 書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,777	1,891	△ 114
基本財産運用利息	1,777	1,891	△ 114
事業収益	90,711	80,141	10,570
講座受講料	100	100	0
資料貸出	1,500	1,500	0
グッズ売上	1,200	1,200	0
茶会等イベント参加料	276	346	△ 70
地方公共団体受託料	87,635	76,995	10,640
雑収益	251	551	△ 300
受取利息	1	1	0
雑収益	250	550	△ 300
経常収益計	92,739	82,583	10,156

(単位：千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(2) 経常費用			
事業費	85,967	76,249	9,718
役員報酬	1,040	1,040	0
給料手当	10,055	10,668	△ 613
賃金	5,155	5,611	△ 456
賞与引当金繰入額	1,268	1,186	82
福利厚生費	2,553	2,368	185
旅費	1,109	1,947	△ 838
通信運搬費	8,486	11,152	△ 2,666
減価償却費	212	304	△ 92
リース資産減価償却費	876	876	0
消耗什器備品費	1,315	758	557
消耗品費	5,602	3,220	2,382
印刷製本費	2,022	1,060	962
燃料費	197	197	0
賃借料	2,679	3,015	△ 336
保険料	651	1,230	△ 579
諸謝金	997	1,395	△ 398
租税公課	2,700	2,700	0
委託費	28,423	18,678	9,745
報償費	9,720	7,945	1,775
雑費	907	899	8

(単位：千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費	6,984	6,638	346
役員報酬	1,281	1,180	101
給料手当	3,401	3,240	161
賞与引当金繰入額	363	335	28
福利厚生費	576	520	56
会議費	12	12	0
消耗品費	240	240	0
賃借料	339	339	0
租税公課	300	300	0
負担金	24	24	0
委託費	330	330	0
報酬金	100	100	0
雑費	18	18	0
經常費用計	92,951	82,887	10,064
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 212	△ 304	92
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	△ 212	△ 304	92

(単位：千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
中科目別記載	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
中科目別記載	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 212	△ 304	92
一般正味財産期首残高	606, 710	607, 014	△ 304
一般正味財産期末残高	606, 498	606, 710	△ 212
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	606, 498	606, 710	△ 212

収支予算書内訳表

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	実 施 事 業 等 会 計			法 人 会 計	内部取引 控 除	合 計
	文化振興事業	共 通	小 計			
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	0	0	0	1,777	0	1,777
基本財産運用利息	0	0	0	1,777	0	1,777
事業収益	90,711	0	90,711	0	0	90,711
講座受講料	100	0	100	0	0	100
資料貸出	1,500	0	1,500	0	0	1,500
グッズ売上	1,200	0	1,200	0	0	1,200
茶会等イベント参加料	276	0	276	0	0	276
地方公共団体受託料	87,635	0	87,635	0	0	87,635
雑収益	250	0	250	1	0	251
受取利息	0	0	0	1	0	1
雑収益	250	0	250	0	0	250
経常収益計	90,961	0	90,961	1,778	0	92,739

(単位：千円)

科 目	実 施 事 業 等 会 計			法 人 会 計	内部取引 控 除	合 計
	文化振興事業	共 通	小 計			
(2) 経常費用						
事業費	85,967	0	85,967	0	0	85,967
役員報酬	1,040	0	1,040	0	0	1,040
給料手当	10,055	0	10,055	0	0	10,055
賃金	5,155	0	5,155	0	0	5,155
賞与引当金繰入額	1,268		1,268	0	0	1,268
福利厚生費	2,553	0	2,553	0	0	2,553
旅費	1,109	0	1,109	0	0	1,109
通信運搬費	8,486	0	8,486	0	0	8,486
減価償却費	212	0	212	0	0	212
リース資産減価償却費	876	0	876	0	0	876
消耗什器備品費	1,315	0	1,315	0	0	1,315
消耗品費	5,602	0	5,602	0	0	5,602
印刷製本費	2,022	0	2,022	0	0	2,022
燃料費	197	0	197	0	0	197
賃借料	2,679	0	2,679	0	0	2,679
保険料	651	0	651	0	0	651
諸謝金	997	0	997	0	0	997
租税公課	2,700	0	2,700	0	0	2,700
委託費	28,423	0	28,423	0	0	28,423
報償費	9,720	0	9,720	0	0	9,720
雑費	907	0	907	0	0	907
管理費	0	0	0	6,984	0	6,984
役員報酬	0	0	0	1,281	0	1,281
給料手当	0	0	0	3,401	0	3,401
賞与引当金繰入額	0	0	0	363	0	363
福利厚生費	0	0	0	576	0	576

(単位：千円)

科 目	実 施 事 業 等 会 計			法 人 会 計	内部取引 控 除	合 計
	文化振興事業	共 通	小 計			
会議費	0	0	0	12	0	12
消耗品費	0	0	0	240	0	240
賃借料	0	0	0	339	0	339
租税公課	0	0	0	300	0	300
負担金	0	0	0	24	0	24
委託費	0	0	0	330	0	330
報酬金	0	0	0	100	0	100
雑費	0	0	0	18	0	18
経常費用計	85,967	0	85,967	6,984	0	92,951
評価損益等調整前当期経常増減額	4,994	0	4,994	△ 5,206	0	△ 212
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	4,994	0	4,994	△ 5,206	0	△ 212

(単位：千円)

科 目	実 施 事 業 等 会 計			法 人 会 計	内部取引 控 除	合 計
	文化振興事業	共 通	小 計			
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
中科目別記載	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
中科目別記載	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	4,994	0	4,994	△ 5,206	0	△ 212
一般正味財産期首残高	616,389	0	616,389	△ 9,679	0	606,710
一般正味財産期末残高	621,383	0	621,383	△ 14,885	0	606,498
Ⅱ 指定正味財産増減の部						
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	621,383	0	621,383	△ 14,885	0	606,498

令和 8 年度

一般財団法人和泉市文化振興財団予算説明資料

一般財団法人和泉市文化振興財団

正味財産増減計算書
令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減	増減率%	摘 要
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	1,777	1,891	△ 114	△ 6.0	
基本財産運用利息	1,777	1,891	△ 114	△ 6.0	
事業収益	90,711	80,141	10,570	13.2	
講座受講料	100	100	0	0.0	
資料貸出	1,500	1,500	0	0.0	
グッズ売上	1,200	1,200	0	0.0	
茶会等イベント参加料	276	346	△ 70	△ 20.2	
地方公共団体受託料	87,635	76,995	10,640	13.8	
雑収益	251	551	△ 300	△ 54.4	
受取利息	1	1	0	0.0	
雑収益	250	550	△ 300	△ 54.5	
経常収益計	92,739	82,583	10,156	12.3	

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減	増減率%	摘 要
(2) 経常費用					
事業費	85,967	76,249	9,718	12.7	
役員報酬	1,040	1,040	0	0.0	理事長役員報酬（管理費折半）
給料手当	10,055	10,668	△ 613	△ 5.7	非常勤職員報酬3名
賃金	5,155	5,611	△ 456	△ 8.1	臨時職員報酬2名（夏季・冬季手当含む）
賞与引当金繰入額	1,268	1,186	82	6.9	非常勤職員3名・臨時職員2名分
福利厚生費	2,553	2,368	185	7.8	非常勤職員3名・臨時職員2名 健康保険・厚生年金他
旅費	1,109	1,947	△ 838	△ 43.0	他館収蔵品借用関連旅費他
通信運搬費	8,486	11,152	△ 2,666	△ 23.9	展覧会展示作品運搬費他 7,648千円 インターネット回線料 33千円 図録広報物等発送費他 805千円
減価償却費	212	304	△ 92	△ 30.3	カメラ・プロジェクター等備品
リース資産減価償却費	876	876	0	0.0	自動車リース資産減価償却
消耗什器備品費	1,315	758	557	73.5	展示用機器 120千円 定期刊行物 1,195千円
消耗品費	5,602	3,220	2,382	74.0	事務用品各種 2,384千円 美術館維持管理用品消耗品 2,189千円 70周年事業費(はじめての美術館、展覧会スタンプラリー) 1,029千円
印刷製本費	2,022	1,060	962	90.8	各種イベントチラシ・パネル他 1,500千円 各種封筒類 500千円 70周年事業費(はじめての美術館、くぼそう蚤の市等) 22千円
燃料費	197	197	0	0.0	ガソリン代
賃借料	2,679	3,015	△ 336	△ 11.1	ソフトウェアライセンス料 789千円 セミセルフレジ賃貸借料 895千円 美術館用車レンタルリース料 660千円 A E D リース費 55千円 他館収蔵品借用料 280千円
保険料	651	1,230	△ 579	△ 47.1	特別展作品輸送保険料 621千円 協力員傷害保険料 30千円
諸謝金	997	1,395	△ 398	△ 28.5	音楽ホール使用者謝礼 777千円 講師謝礼金他 220千円

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減	増減率%	摘 要
租税公課	2,700	2,700	0	0.0	消費税 2,400千円 印紙代等 300千円
委託費	28,423	18,678	9,745	52.2	駐車場誘導業務委託費 400千円 ホームページ運用管理委託費他 1,699千円 特別展図録作成委託費他 2,897千円 ピアノ保守点検委託費 580千円 茶会運営委託費 600千円 市民講座委託費 600千円 協力員研修委託費 150千円 ミュージアムグッズ新商品開発制作委託費 300千円 音楽ホール天井照明交換作業等委託費 320千円 各種広報委託費 5,533千円 事業系粗大ごみ廃棄委託費 400千円 70周年事業費(くぼそう蚤の市、プロジェクトンマッピング、KUBOSO 猫ちゃんアートコンクール、パブリックアート散策等) 14,944千円
報償費	9,720	7,945	1,775	22.3	ボランティア協力員
雑費	907	899	8	0.9	音楽著作物使用料・演奏使用料 196千円 振込手数料 711千円
管理費	6,984	6,638	346	5.2	
役員報酬	1,281	1,180	101	8.6	理事長役員報酬(事業費折半) 理事会・評議委員出席謝金
給料手当	3,401	3,240	161	5.0	非常勤職員報酬1名
賞与引当金繰入額	363	335	28	8.4	非常勤職員1名分
福利厚生費	576	520	56	10.8	非常勤職員1名 健康保険・厚生年金他
会議費	12	12	0	0.0	理事会・評議員会費用
消耗品費	240	240	0	0.0	事務所・学芸室用事務用品各種
賃借料	339	339	0	0.0	公益会計ソフト使用料
租税公課	300	300	0	0.0	消費税・法人府市民税
負担金	24	24	0	0.0	和泉商工会議所会費
委託費	330	330	0	0.0	税理士顧問契約委託料

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減	増減率％	摘 要
報酬金	100	100	0	0.0	役員登記事務費
雑費	18	18	0	0.0	ネットバンキング手数料他
経常費用計	92,951	82,887	10,064	12.1	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 212	△ 304	92	△ 30.3	
基本財産評価損益等	0	0	0	0.0	
特定資産評価損益等	0	0	0	0.0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0.0	
評価損益等計	0	0	0	0.0	
当期経常増減額	△ 212	△ 304	92	△ 30.3	

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減	増減率%	摘 要
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
中科目別記載	0	0	0	0.0	
経常外収益計	0	0	0	0.0	
(2) 経常外費用					
中科目別記載	0	0	0	0.0	
経常外費用計	0	0	0	0.0	
当期経常外増減額	0	0	0	0.0	
他会計振替額	0	0	0	0.0	
当期一般正味財産増減額	△ 212	△ 304	174	△ 30.3	
一般正味財産期首残高	606,710	607,014	△ 478	△ 0.1	
一般正味財産期末残高	606,498	606,710	△ 304	△ 0.0	
II 指定正味財産増減の部					
受取補助金等	0	0	0	0.0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	0.0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0.0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	0.0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0.0	
III 正味財産期末残高	606,498	606,710	△ 304	△ 0.0	

ひろがる

世界は

想像以上

天才てれびくん
grow

NHK大阪放送局

公開生放送 観覧者募集



入場無料

<<要事前申込>>

NHK大阪放送局と和泉市では、市制施行 70 周年を記念して、「天才てれびくん grow 木曜 LIVE」の公開生放送を実施します。

中継 MC とてれび戦士と一緒にゲームやダンスに挑戦して、一緒に放送を作り上げましょう！

7月9日(木)17時～19時

場所 和泉シティプラザ弥生の風ホール

出演 チャンカワイ (Wエンジン)、てれび戦士

観覧申込

6/16 (火)

午後 11 時 59 分まで

専用申込フォーム

(二次元コード)

※NHK ホームページから申込



**チャンカワイが
やってくる！**

信太の森ふるさと館

ママ・エマイユ

七宝焼作品展



令和8年 5月26日(火)～7月12日(日)

最終日は15:00まで

✿ 地元の七宝焼グループ
「ママ・エマイユ」による新作

✿ 入館無料



七宝焼作品即売会

日時: 7月11日(土) 10:00～16:00

12日(日) 10:00～15:00

(なくなり次第終了)

ママ・エマイユのメンバーが製作した
過去の作品の即売会です。

※展示しているものは対象外です。

信太の森ふるさと館

「ママ・エミユ七宝焼展」関連イベント



七宝焼とおそろいの プラバンキーホルダーを作ろう

七宝焼の作品

七宝焼を元に作成する
キーホルダーの例

申込不要
参加費無料

七宝焼の下絵をなぞって
お絵かきするだけで
キーホルダーが作れます！

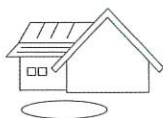


5月31日（日）、7月5日（日）開催

時間：10:00-12:00 会場：信太の森ふるさと館 申込不要・参加費無料

※時間内随時

七宝焼作りでも使用している下絵をなぞって
プラバンのキーホルダーやマグネットを作ります。



交通 & アクセス

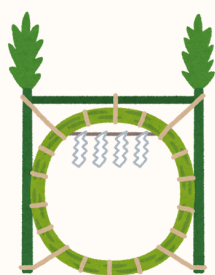
- JR阪和線北信太駅南へ徒歩20分
- 南海バス北信太駅筋より「鶴山台方面」行き乗車「鶴山台センター前」下車数分

信太の森の鏡池史跡公園
信太の森ふるさと館

■お問い合わせ 〒594-0004 和泉市王子町914-1
TEL / FAX : 0725-45-0605
開館時間：午前10時から午後5時まで（入館は午後4時45分まで）
休館日：毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日）
祝日の翌日 / 年末・年始
入館料：無料

信太の森ふるさと館ぶろぐ |

<http://shinodanomori.jugem.jp>



茅の輪くぐりを見学しよう！

6/28 (日) 10:00-12:00



徒歩15分程の神社に行き、茅の輪くぐりを見学します。
どなたでもお気軽にお申込みください。



▲旧府神社（和泉市尾井町）

信太の森ふるさと館で茅の輪くぐりの風習や由来についてミニトークを聞いた後、近くの旧府神社まで散歩し茅の輪くぐりを見学します。

日時 : 6月28日 (日) 10時~12時

集合場所 : 信太の森ふるさと館

参加費 : 無料

定員 : 20人

申込方法 : 二次元コード、電話 (0725-45-0605)、直接
(申込受付は6月5日 (金) 開始)

※小学3年生以下は保護者同伴 ※雨天中止



▲申込用二次元コード



交通&アクセス

- JR阪和線北信太駅南へ徒歩20分
- 南海バス北信太駅筋より「鶴山台方面」行き乗車「鶴山台センター前」下車数分

信太の森の鏡池史跡公園 信太の森ふるさと館

■お問い合わせ 〒594-0004 和泉市王子町914-1
TEL / FAX : 0725-45-0605
開館時間 : 午前10時から午後5時まで (入館は午後4時45分まで)
休館日 : 毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は火曜日)
祝日の翌日 / 年末・年始
入館料 : 無料

信太の森ふるさと館ぶろぐ |

<http://shinodanomori.jugem.jp>



和泉市制施行70周年記念
和泉市の歴史5へ府中編／刊行記念
和泉市いずみの国歴史館令和8年度夏季企画展

竹田家だけ。

府中の医家に伝わるあれこれと覧あれ。

2026年6月27日(土) ▶ 8月16日(日)

前期:6月27日(土)～7月20日(月・祝) 後期:7月22日(水)～8月16日(日)

入館
無料

開館時間:10:00～17:00(最終入館16:30)
休館日:月曜日(祝日は開館)、祝日の翌日(土日は開館)

和泉市いずみの国歴史館
主催:和泉市教育委員会



画像:平次郎臙図(部分)



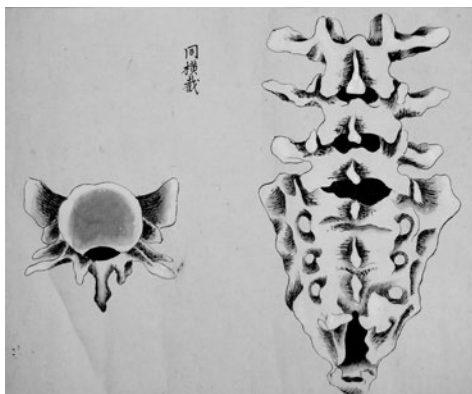
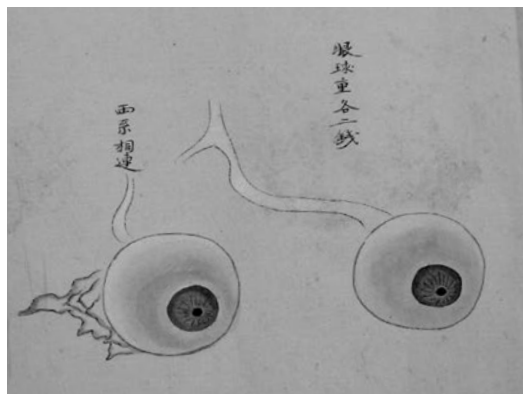
和泉市制施行70周年記念
和泉市の歴史5へ府中編刊行記念
和泉市いずみの国歴史館令和8年度夏季企画展

竹田家だけ。

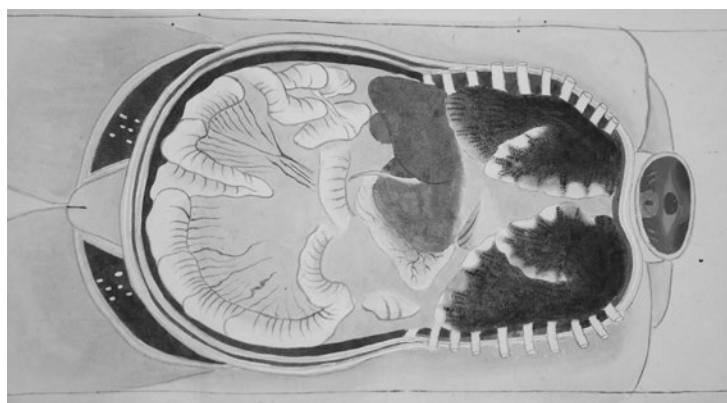
竹田家は、江戸時代の府中で医業を営んだ家であり、その系譜は京都の名門医家に繋がります。14世紀室町時代、京都の朝廷で活躍したのち、16世紀ころ堺に拠点を移しました。後柏原天皇から薬師院の称号を与えられ、武野紹鴎や千利休らが築いた堺文化を享受しましたが、江戸時代中期には泉州府中に活動の場を移し、医家としての命脈を保ちました。

こうして和泉市域に伝来した名医薬師院竹田家の資料は、その歴史的かつ地域的重要性と豊かな内容により、2024年3月、和泉市指定文化財に指定されました。

本展では、指定資料約1600点の中から、室町時代以来の貴重な医学史的資料、堺から府中にもたらされた古今伝授をはじめとする文化史的資料、そして府中の歴史に関わる地域資料を展示し、府中竹田家の多面的な性格や府中地域にもたらした影響力について考察します。



柯亭先生(竹田定直)肖像

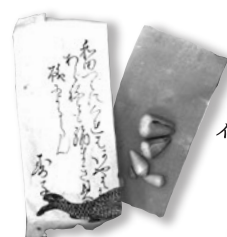


平次郎臓図(左) 玉砕臓図(右・下)
どちらも江戸時代に行われた
人体解剖実験の様子を模写した図譜。



標本箱・歌仙貝

貝の包み紙には、貝の名にちなんだ和歌が書かれている。



イモガイ科



ヒュサング

箱の中身

関連イベント

講演会

医家竹田家の歴史について、お話しいただきます。

- 日時: 7月25日(土) 13時30分開始
- 講師: 海原 亮氏(住友史料館 副館長)
- 定員: 50名(当日先着順受付)

ギャラリートーク

貝や植物などの標本を中心に、展示品を見ながら、その魅力を解説していただきます。

- 日時: 7月11日(土) 13時30分開始
- 解説: 石田 惣氏(大阪市立自然史博物館 学芸係長)
佐久間 大輔氏(大阪市立自然史博物館 学芸課長)
- 定員: 20名(当日先着順受付)

交通案内

- 徒歩: 南海泉北線和泉中央駅から桃山学院大学方面へ徒歩20分。桃山学院大学前の吊り橋を渡ってすぐ、大学北門の手前を右折して道なりに進む。(足元の和泉市久保惣記念美術館への道順案内にしてください)
- バス: 和泉中央駅から南海バス「美術館前」行き乗車「緑ヶ丘団地」下車徒歩5分
- 車: 桃山学院大学正門を入り坂道をのぼる。つきあたり右手に宮ノ上公園駐車場(無料)、左手にいずみの国歴史館(まなびのプラザ)。



和泉市いずみの国歴史館

〒594-1152 和泉市まなび野2番4(まなびのプラザ内) Tel/Fax 0725-53-0802

